

佳
作

なぜ障害者とゆうの



岩手県

千葉 智恵美

すごく気になっている事が、あるので皆さんへつたえたい。私は、「障害者」とゆう言葉が大嫌いです。正直ゆって本当に大嫌いです。なぜ、つかうのでしょうか。なぜですか。実は、私もついこの前まではつかっていました。でも、ある事をきっかけにやめました。そのある事とは、「この人たちだつて、親や、兄弟もいるし、身内もいる。いわれたらいやだろうなあー。産んだお母さんも、最初から子供がこうなるとおもって産んだのでは、ないのだから。せめて私からこの言葉をつかわないようにしよう。私も、療育手帳をもってるし、判定の記録のところには総合判定Bとかいてあるし、この手

帳には岩手県のはんこも、ついてあるのだからいやだなあー。私は自分をふくめて今までは、他の皆を障害者と本当にゆっていた」と思ったことです。これをきに「ハンディーキャップをもった人々」と話すようにしました。私一人だけハンディーキャップと話してもなぜか、せつないです。一人では、さびしすぎます。皆さんも、ごいっしょにハンディーキャップと、いいませんか。「IQ」知能指数は一般の人より低い私ですが二十一世紀には、本当の心のバリアフリーになってほしいです。

私は基礎年金を二十歳の成人式の年より福祉からいただいたいております。現在三十三歳なので、十三年間お世話になっております。昭和五十九年から平成七年三月まで入所していたじょうざんえん 静山園の園生時代より年金をいただいているせいか、近所の人より「智恵美ちゃんは、税金を納める事なくていいわね」とよくいわれますが、けっこう生活のほうは大変です。たしかに「税金」は納めませんが社会人になってホテルの社員となり、つとめています。もう六年目です。静山園の園生時代十一年間をぶじおえ、寮生時代と、グループホーム時代もおわり、現在は、母と二人ぐらしで自宅より仕事に電車で北上までかよっています。母へは、給料より食事代三万円をだしております。一か月分の私の食事代です。給料支払明細書十二年七月分より、労働時間一四〇時間、労働日数二十日、支給額基本給八万三千三百円、交通費一万円、合計九万三千三百円、控除額 健康保険料八千五百一円、雇用保険料三三三円、所得補償保険料八八八円、団体保険千円、互助会費二百円、所得税〇円、合計一万五千八十七円で、差引支給額七万八千二百十三円です。たしかに近所の皆さんがおっしゃるとうりに、所得税のところは、

〇円になっていきます。でも、お金もちではありません。むしろいろいろはらって給与だけでは、生活できないので福祉から、年金が支給されます。あと、自分のおこずかいは、キャッシングカードで二万五千円を銀行よりおろします。給与日が毎月十日なのでその日にいっておろします。ただ十日が、日曜日や、土曜日にもあたるので、休みだったりして、まどぐちの用事が、あつたりするときは、まどぐちがあいてないのが、困ります。ちよつとそれが、ざんねんですが。いつも、食事代と、おこずかいをあわせてキャッシングカードから、五万五千円おろします。私は平成十年から平成十二年四月三十日まで二年間グループホームにいて、今年の五月より家へきました。キャッシングカードを、つかうようになって、三か月がたちました。又、友人の結婚式のお金一万五千円も、自分の通帳からおろしました。銀行へ行くようになって気がついた事があります。ハンディキャップをせおっている私でも、もうすこし通帳やカードのつくりかた、手つづきなど、らくにおこなえるようになってほしいと、ねがいます。実さい私のキャッシングカードをつくるときは、むかしお世話になった寮の職員にたのんでつくってもらいました。正直ゆって手つづきのしかたが、私一人ではわかりませんでした。本当に本人が一人でも銀行へいってだれの力もかりずにカードや、通帳をつくれたらいいなあとおもいました。すこしでも自立できると、おもいます。

それに今は、母は六十一歳で元気ですが病氣や事故やあるいは、死もあるかもしれません。母が元気なうちにおぼえるように、家の中のガス代やくみとり代、新聞代とか、水道代、電気代、電話代、町

内会費、固定資産税などの通知を、母はよく私へ見せます。そして「家^{うち}では、市役所へはらう固定資産税はね、年間をとうして一万五千円なんだよ、智恵美。一回分は五千円ねえ。三回はらうんだよ。固定資産税とは家の土地代の事なんだよ」とおしえてくれました。私は「ふん、そうなんだ」とへんじをしました。母はくちぐせに「母さんが、いつ病気になるか、わからないし、だから、智恵美にいろんな通知みせるんだよ」といいます。だから、わが家ではこんな話はあたりまえなのです。よその家ではどうなってるか、わかりませんが。とつぜん死とか、病気とかはいつくるかわかりませんね。だから家の中の事も、おぼえておくひつようがあります。皆さんの家では、親子で会話をしていますか。

それからハンディーをせおっている人が、性について興味をもっていないと考える人が多いようですが、それはまちがいです。私が前お世話になったグループホームの友人でS君とゆう四十九歳の男性がいました。その人は、私の顔を見ると、「智恵美ちゃんの家へおむこにいく。結婚したい。子供二人つくるの」としゃべっていました。私がいたグループホームは男女いっしょのホームでした。「S君本当に、私の家へ行きたいの。私の事すきななの」ときくと「うん、智恵美ちゃんの事すきななの」といいます。「だから、おむこに行く。智恵美ちゃんのお母さんにも話す。家のお姉さんにも電話してきいてみる」とS君がいました。そして「S君、お姉さんへ電話してみたら、なんていわれたの?」ときくと「うん、はやく結婚してといわれたよ」とうれしそうに話してくれました。「えー本当なの」と私。「本当だよ」「じゃあー私も、いつかお姉さんへきいてみるね」「いいよ」とS君の声。あるときそ

のお姉さんと、私が旅行でいっしょのへやになりました。「S君のお姉さん、S君は私の事すきだどゆってるよ。それにおむこにいつて結婚式を私として、子供二人つくとゆってるよ。子供の名前は雄一とみかことつけて、新婚旅行はシンガポールに行くどゆってましたよ。結婚に興味ありますよ」。お姉さんへ私がきくと、「えー家のSが結婚して子供二人だつて、おむこに行くどゆってるの。あなたの家へ行きたいつて。智恵美ちゃんが、他の人と結婚するのは、めでたいけど家の^{うち}が結婚だなんてとんでもない。結婚の意味も、わからないで、ただ、さわいでいるだけですよ」との事ゆわれる。このお姉さんの話をS君へきかせたところ「お姉さん、ゆつてたの。意味もわからないで、さわいでるつて」と何回も、S君にきかれました。又、S君は「赤ちゃん最初は男の子で、次は女の子つくるの」といいます。私は「どうやって赤ちゃんつくるの」ときいた事があります。するとS君は「結婚して智恵美ちゃんと、いっしょに、ねてできるの」とこたえが、かえつてきました。私は家の母へもきいてみました。「お母さんS君がねえ私と結婚して、子供二人つくとゆってるよ。おむこに行くどゆてるよ。家へくるつてゆつてますよ」といつてみたら、「この家は、おまえとお母さんの二人だけで、せいっぱいでS君がおむこにきたら、ねるところないね。それに、こんなぼろやより、S君にはもつとりっぱな家があるし、そつちに、おむこにいつたほうがいいね」との母の一言。S君が女性と、結婚して子供二人ほしいとゆってる事は、ごくあたりまえの夢です。そのあたりまえの夢をS君は、たのしみに、お話ししているのに、なぜお姉さんは、「とんでもない」とゆうのでしょうか。ふしぎでな

りません。

次は、私の事についてお話ししましょう。私は、いろんな人よりこうゆわれます。「智恵美ちゃんも、すきな人だれかいがないの。そろそろお母さんへ孫の顔を見せたらいいんじゃないの」と話がでます。そのたんびに、「えー、すきな人ですか。まだいませぬね。ぜんぜん気になるような人は、いませぬ」といいます。すると「あーあやしいなあー、本当はいるんじゃないの」ときかれます。「本当に私にはいいませんよ。本当です」とこたえます。近所の人にあえばかならずきかれます。母へよく冗談で「お母さん、皆から孫の顔みせてあげてといわれるけど孫の顔みたい」ときいてみました。「母さんはまだ、孫の顔みたくないし、いらぬよ。おまえ気になる人もいなくせに」といわれました。「いつまで一人でいるの」とか「一生独身でいる気なの」とか、きかれますがなかなかめぐりあえないようです。女優や、芸能人でもないのに何年も前からきかれていました。ずっと前、私へお見合い話がきました。その人は、おなじ水沢みずさわの人で年は四十五歳ぐらいです。お母さんが三年前に病死してお父さんと長男と二人ぐらしの家です。長女と、次男は水沢へはかえる気がまったくないとの事。その長男は、ひまわり作業所ではたらいてます。ハンディーキャップがあります。「だめ息子ですが、智恵美さんに、きていただけないでしょうか。息子もそうもうしております」との手紙を、お父さんよりいただきました。母へも相談しましたが、「智恵美が、この人の家へいったら、ここのお父さんは七十二歳であしたにも、死んじゃうような、あの世へいくかつこうだし、おまえがいったらあんしんして、すぐ死んだら、お

まあと、息子と二人のこされて大変だね。目にみえるようだ。お母さんが死んで三年たつから、女手がほしくてお手紙よこしたのなんだからね」といわれました。よく私も、この事について考えて「お母さんのゆうとおり、そうかもしれないね。私はまだ結婚したいとか、ぜんぜんおもわないしね。よくわからない」といって相手の方へはお見合いのおことわりの、手紙をかきました。むかし、お世話になった学園の園長の同級生の息子さんです。「もうしわけございませんがお見合いは、おことわりいたします。まだ、私はそんな気にはなれません。それに仕事のほうも、やっとなれたばかりなので結婚するきにはなれません。正直ゆって、わかりません」とかいていただきました。それから園長からは、お見合い話はこなくなりました。

よくグループホームの皆と話をしている気がついた事が、あります。「男と女が、愛しあうってどんな事」ときく人が、いました。「それは、私もおくてだからわかんないなあ」といいました。「智恵美ちゃんが、おくてだって？ 本当はしってるんじゃないの」とひやかされました。私は、「えへへー」とわらいました。はずかしかったからです。別のグループホームの人で「智恵美ちゃん、なんでカップルどうしが町で、手つないだり公園でキスするのか、おれみたぞー。すきだから、するんだよ」といわれました。「そうかなあ」と私。こうやって会話すると一般の男女とおなじ会話でしょう。今、私の仲間には、カップルでつきあって六年ぐらいたつ人がいます。本人どうしは、まじめに結婚を考えています。親どうしが、反対しています。理由は、おたがいハンディーを、せおっていて生

活するのが大変だろうとの親心からです。でも、本人達は、ますます反対されれば、されるほど愛がふかまってつよいきずなで、むすばれています。みてる私にも、手にとるようにわかります。夢へむかつてる二人は、キラキラかがやいて、すてきにみえました。もちろん兄弟たちも、反対しています。この二人が、すえ長くむすばれますように。おいのりいたします。二十一世紀には、ハンディーがあつても、男女の愛はこの人たちも、あたりまえ、といわれる時代になる事をいのります。私も、いつかしあわせな日がきますようにいのります。神様ありがとうございます。

千葉 智恵美

昭和四十二年生まれ 会社員 岩手県水沢市在住

選評

「『障害者』という言葉が大嫌いです」という最初の言葉にどきとさせられ、読み進む中に、仕事や給料や税金の話、特に性と結婚についての考えやエピソードが素朴に語られていて、読み終えてほのぼのとした気分になりました。

アメリカでは大分前から、障害の有無に拘らず先ず同じ人間であると訴えるピール・ファーストの運動が広がっています。「障害者」に代る言葉を皆で探そうではありませんか。

(山口 薫)